

# 2019 年度 関東福祉専門学校 事業報告

## 施設基本方針

介護の未来を創造する『教育刷新』  
～社会に求められる新たな学力の育成をゴールに見据えた教育ビジョン～

## 施設年度目標

- ・語学力、コミュニケーション力、課題解決力を育成する教育メソッドノウハウを開発し実践に繋げる
- ・地域貢献活動を展開し、関東福祉専門学校の学生が地域における中核的人材となるよう指導・育成する
- ・PDCAで学校としての指導力、教育力の向上を図る

## 重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

### ※専門課程

		定員数	学生数
4月4日	新入生オリエンテーション・保護者会	160名	→ 86名 充足率 53.8%
5日	第23期生入学式(クレアこうのす小ホール)		(1年生48名・2年生38名)
8日	授業開始・健康診断		
5月17日～19日	オリエンテーション合宿(1年生、YMCA東山荘)		
5月27日～6月21日	第3段階実習(2年生)		
6月24日～7月19日	第1段階実習(1年生)		
7月6日	卒後研修(21期生)・同窓会		
7月24日	献血協力(学校にて)		
8月1日～31日	夏期休暇、納涼祭ボランティア		
8月23日	実習指導者会議・教育課程編成会議		
8月24日	学校関係者評価委員会		
9月27日	スポーツ大会(赤見台近隣公園)		
30日～	後期授業開始		
10月1日	令和2年度入学願書受付開始		
1日～2日	赤い羽根街頭募金(鴻巣駅前)		
14日～26日	第4段階実習(2年生)		
10月31日	第23回高齢者介護研究会(大宮ソニック)		
11月16日	第20回学園祭		
12月20日	パフォーマンス大会		
12月27日～1月3日	冬休み		
1月6日～31日	第2段階実習(1年生)		
26日	介護福祉士国家試験(2年生)		
2月28日	卒業者発表		
3月4日	進級者発表		
6日	第22期生卒業式(クレアこうのす小ホール)		
18日	実習指導者会議・教育課程編成会議		
21日	学校関係者評価委員会		

### ※研修事業

研修事業	定員	受講者数
1. 実務者研修(通信課程)		
毎月開催 全8回 各コース定員20名		18名
2. 介護福祉士国家試験受験対策講座(介護福祉士国家試験筆記試験対策)		
1回(8日間)開催 11月コース		3名
一夜漬けコース 1月1回 定員 40名		5名
3. 喀痰吸引講座		
全2回(10日間コース) 5月コース、1月コース 定員 10名		9名
4. 実習指導者養成講習会(厚生労働省認可事業)		
全2回(4日間)開催 9月コース、1月コース 定員 40名		21名
5. 認知症介護実践者研修(埼玉省委託事業)		
11月・1月開催(全6日間) 定員60名 ×2回開催		110名
6. 医療的ケア教員研修		1名

平成31年度における学生募集実績は、オープンキャンパスの参加者においては全体64名、日本人13名、留学生51名となり、前年度同様、留学生の参加者が日本人参加者を大きく上回る結果となった。

本校の留学生受け入れ実績及び広報活動によるものと分析する。受験者数は43名となったが、日本語能力や本人の学習意欲等、総合的に判断した結果、学生及び教育の質の向上を最優先課題とし選考基準を高く設定したことから最終的に29名の入学者数となった。研修事業については、受講者数の減少がみられ充足率も著しく低い結果となった。

研修については抜本的な変革と専門課程とのバランスを考慮した再編成が急務である。その他、新規事業として地域貢献活動を積極的に展開した。特に文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」のモデル校として、重症心身障害児入浴プロジェクト、地域住民の方々との交流会、こうのす国際交流フェス・介護医療連携推進会議への参加など、地域の中で「介護の学校」としての役割・機能を推進し、地域の方々のニーズの掘り起こしをしながら、社会貢献に繋がる活動が少しずつ展開しており、本校の特徴・強味として位置づける。次年度は活動内容を評価・精査し、更なるプラスのスパイラルを目指す。